

事業成果報告書

〔取組Ⅱ〕市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

1. 市町村教育委員会等の名称 : 熊本市教育委員会

住所 : 熊本市中央区手取本町1番1号
代表者職・氏名 : 教育長 岡 昭二

2. 取組の名称 : 平成28年度熊本市小中一貫推進事業

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

連携教育研究モデル校の指定、小中一貫教育検討委員会の開催、学校訪問等による指導・助言等を通して、校区における子どもの課題（基本的な行動様式や自力解決力の育成）の解決を目指すとともに、幼稚園も含めた連携教育や一貫教育の必要性に対する教職員の認識を深める。

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成28年度）

4月	
5月	・モデル校研究推進会議
6月	
7月	・平成28年度第1回熊本市小中一貫教育検討委員会
8月	・モデル校合同研修会
9月	・モデル校担当者会 ・幼小接続カリキュラム検討会議
10月	・モデル校担当者会 ・幼小接続カリキュラム検討会議
11月	・幼小中連携の日（3校合同研修会） ・幼小接続カリキュラム検討会議
12月	・平成28年度第2回熊本市小中一貫教育検討委員会
1月	・モデル校合同事前研修会 ・幼小接続カリキュラム検討会議

2月	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル校研究発表会 ・連携カリキュラム「かかわりのものさし」や関係資料の配布 ・幼小中連携教育担当者会（小中一貫教育に関する研修会、講師招聘）
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度第3回熊本市小中一貫教育検討委員会、小中一貫ポリシーの策定 ・幼小接続カリキュラムの熊本市版の配布

(3) 取組の成果

<ul style="list-style-type: none"> ・モデル校の3校が、実態に応じて「基本的生活習慣」の中の、特に「あいさつ」を重点化した指導指針を作成し、家庭や地域とともに取り組むことができた。 ・モデル校での様々な取組で、子どもの自尊感情の高まりや外国語の学習に対する意欲の向上、進学に対する不安の解消等、様々な成果が見られた。計画的・意図的な交流活動により、校種を超えた子ども同士によりよい人間関係の構築が見られた。 ・モデル校の公開授業や、大学教授による講演会を通して、市内全域で、9年間あるいは12年間を通して児童生徒を育てるといった教職員の意識の高まりがみられた。
--

(4) 今後の取組予定

<p>年に3回開催する「熊本市小中一貫教育検討委員会」で、モデル校の取組や先進的な小中一貫の取組について協議し、今後の熊本市全体の小中一貫教育に向けた連携の在り方について検討する。</p> <p>平成28年度に指定したモデル校では、あいさつ等人とのかかわりを中心に据えての取組だったが、平成29年度は教科の内容や授業スタイル等、学習面での連携にも取り組み、全小中学校で実現可能で実効性のある小中連携、小中一貫教育のあり方について検討する。</p> <p>また、モデル校における取組の成果や関係資料を成果物としてまとめ、全小中学校に配布して活用を推進するとともに、大学教授による講演会の実施等で、小中連携教育や小中一貫教育に対する教職員の認識を深めることで、市内全域の小中連携、一貫教育を促進する。</p> <p>※本市では幼稚園と小学校の円滑な接続も小中連携、一貫教育に含めて推進する。</p>
